

掛川市立上内田小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成30年5月29日(火)

5月29日(火)、掛川市立上内田小学校を訪問し、「土器の分類」「石器(黒曜石)の試し切り」「火起こし」の古代の人々の体験授業を行いました。

初めて本物の石器や土器を手にとって触れての体験に緊張しながらも興味津々真剣に取り組んでいました。この体験で学んだ古代の人々の暮らしや歴史を今後の学習に生かしてほしいと願っています。



◎土器分類体験



縄文土器、弥生土器、須恵器(すえき)の3つの時代の本物の土器片を直接手にとって、みんなで分類する作業を体験しました。模様や肌触りなどそれぞれの時代の土器の特徴や違いを本物に触れて確認しながら、土器を分類しました。



◎石器(黒曜石)試し切り体験



◎火起こし体験



実際に挑戦してみると、なかなか火種ができません。火種ができて燃える炎にするには、またひと苦労、煙が目にしみてつらかった。火を手に入れるのに、こんなに苦労するとは思っていませんでした。しかし、みんなで協力し、コツを覚えると、次々と火を起こすことができました。昔の人々の工夫もいろいろと感ずることができました。



石器(黒曜石)を使って、紙や野菜を切る体験をしました。とても、よく切れたことに驚きました。昔の人々は鋭く尖る石(自然のガラス黒曜石)を探し、長野県や伊豆諸島まで出かけて行って手に入れていたことを知って、さらに驚きました。

